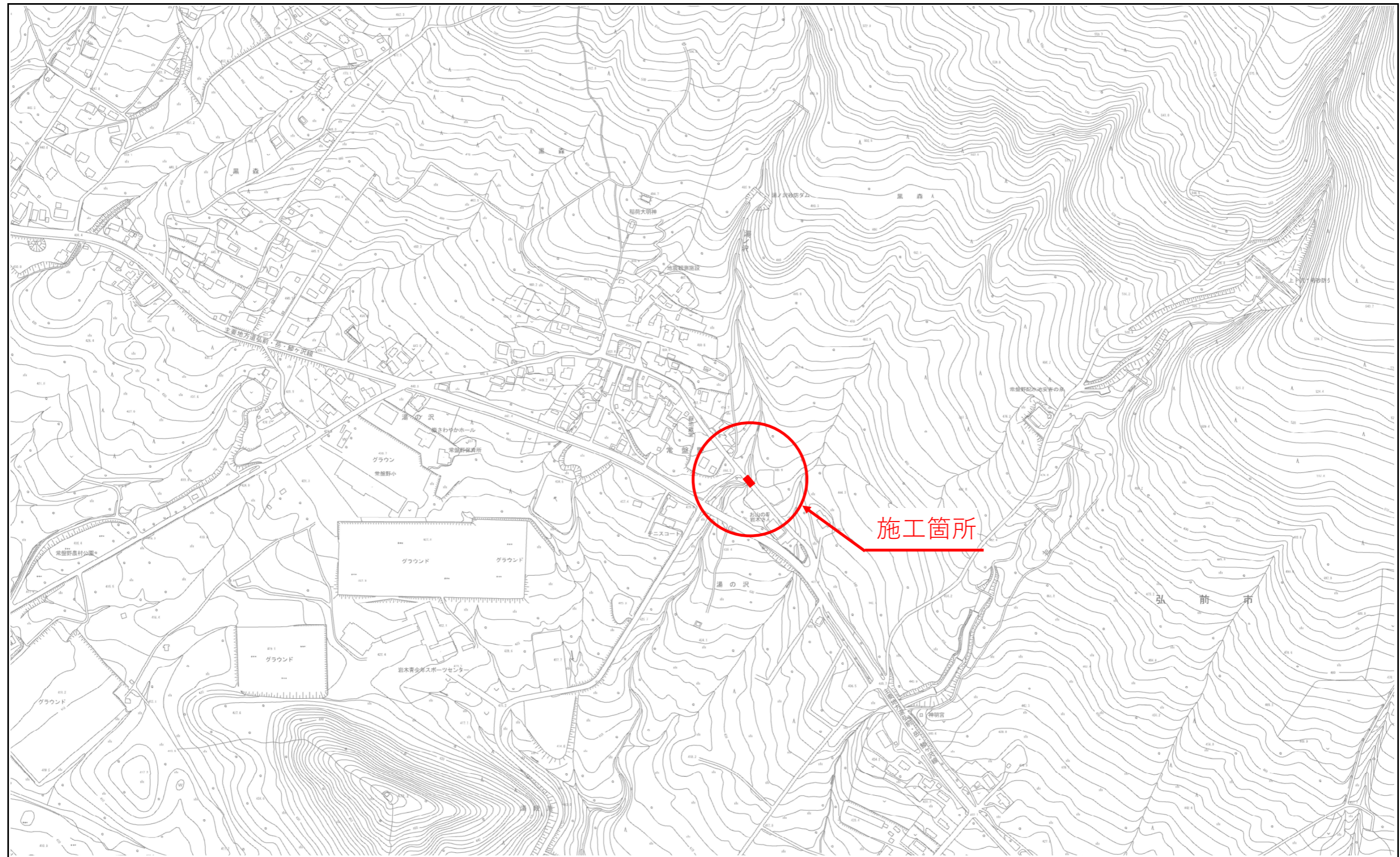
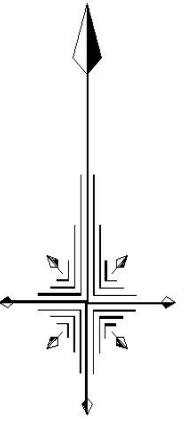


位置図

工事名：令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事

S = 1 : 5,000

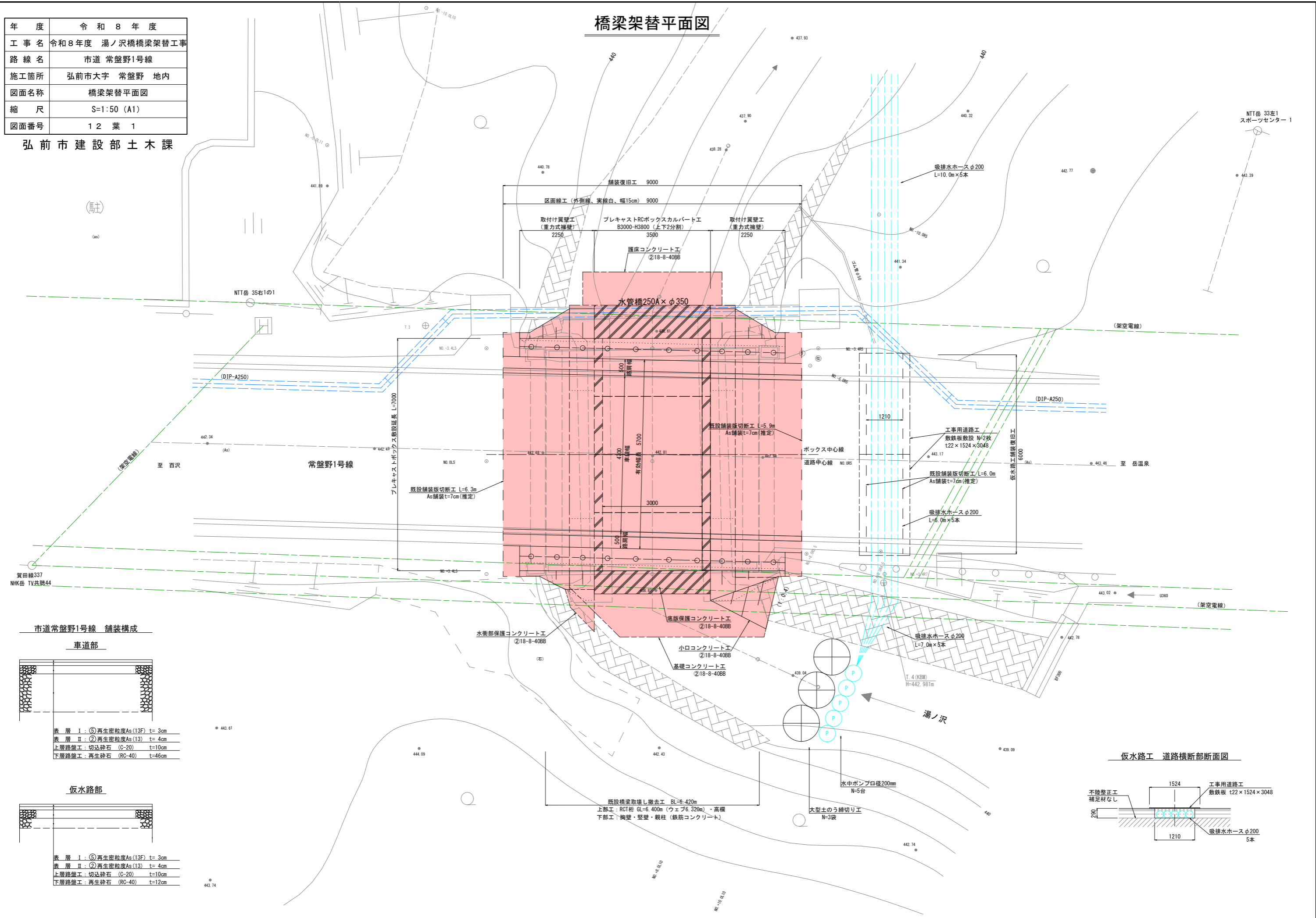
弘前市



年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	橋梁架替平面図
縮尺	S=1:50 (A1)
図面番号	12 葉 1

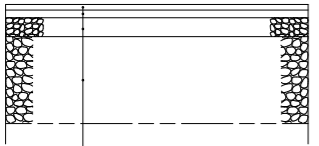
弘前市建設部土木課

橋梁架替平面図



市道常盤野1号線 舗装構成

車道部



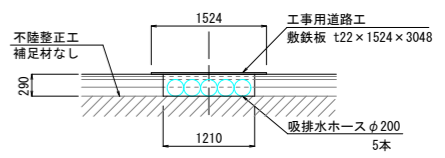
表層 I	: ⑤再生密粒度As (13F)	t= 3cm
表層 II	: ②再生密粒度As (13)	t= 4cm
上層路盤工	: 切込砕石 (C-20)	t=10cm
下層路盤工	: 再生砕石 (RC-40)	t=46cm

仮水路部



表層 I	: ⑤再生密粒度As (13F)	t= 3cm
表層 II	: ②再生密粒度As (13)	t= 4cm
上層路盤工	: 切込砕石 (C-20)	t=10cm
下層路盤工	: 再生砕石 (RC-40)	t=12cm

仮水路 道路横断面断面図

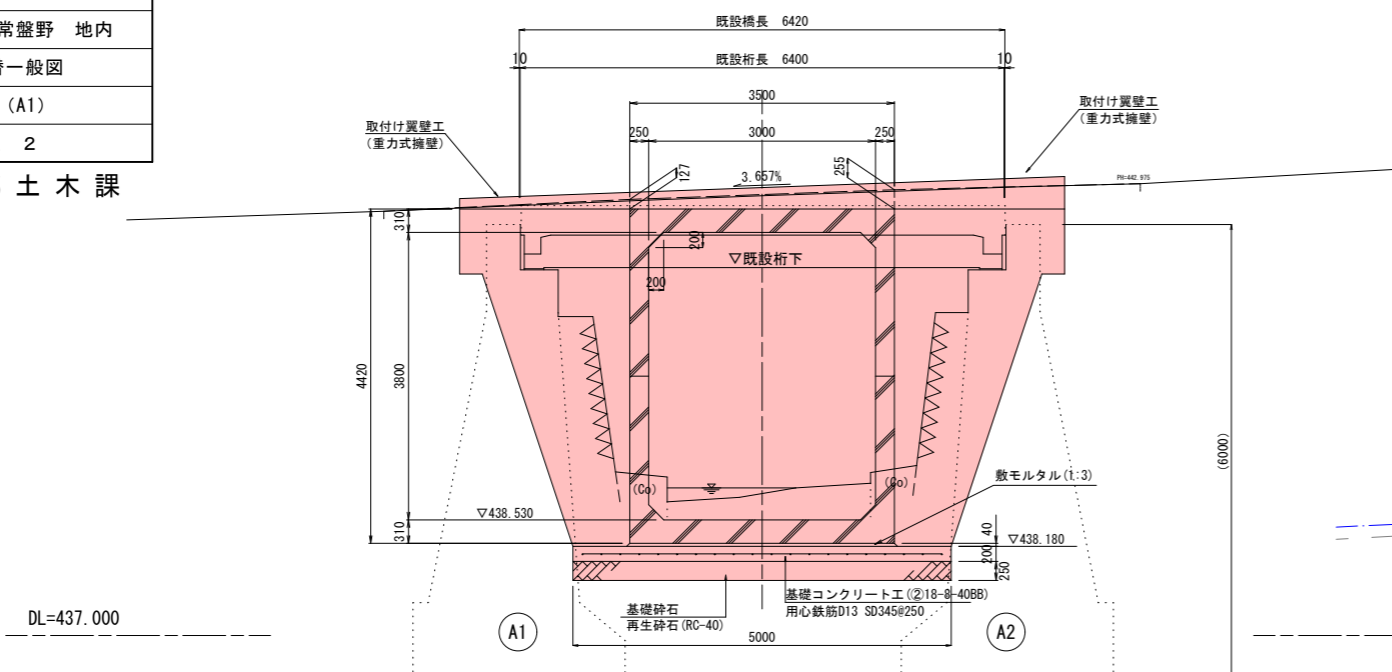


年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	橋梁架替一般図
縮尺	S=1:50 (A1)
図面番号	12 葉 2

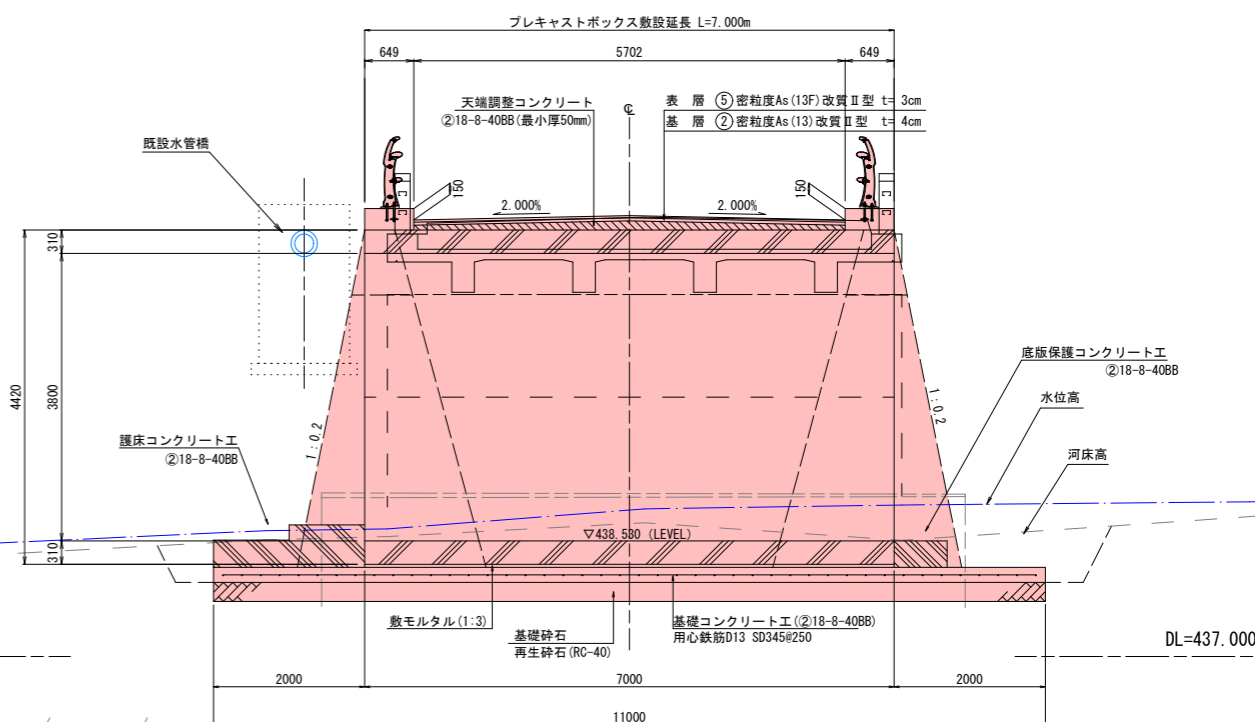
弘前市建設部土木課

橋梁架替一般図

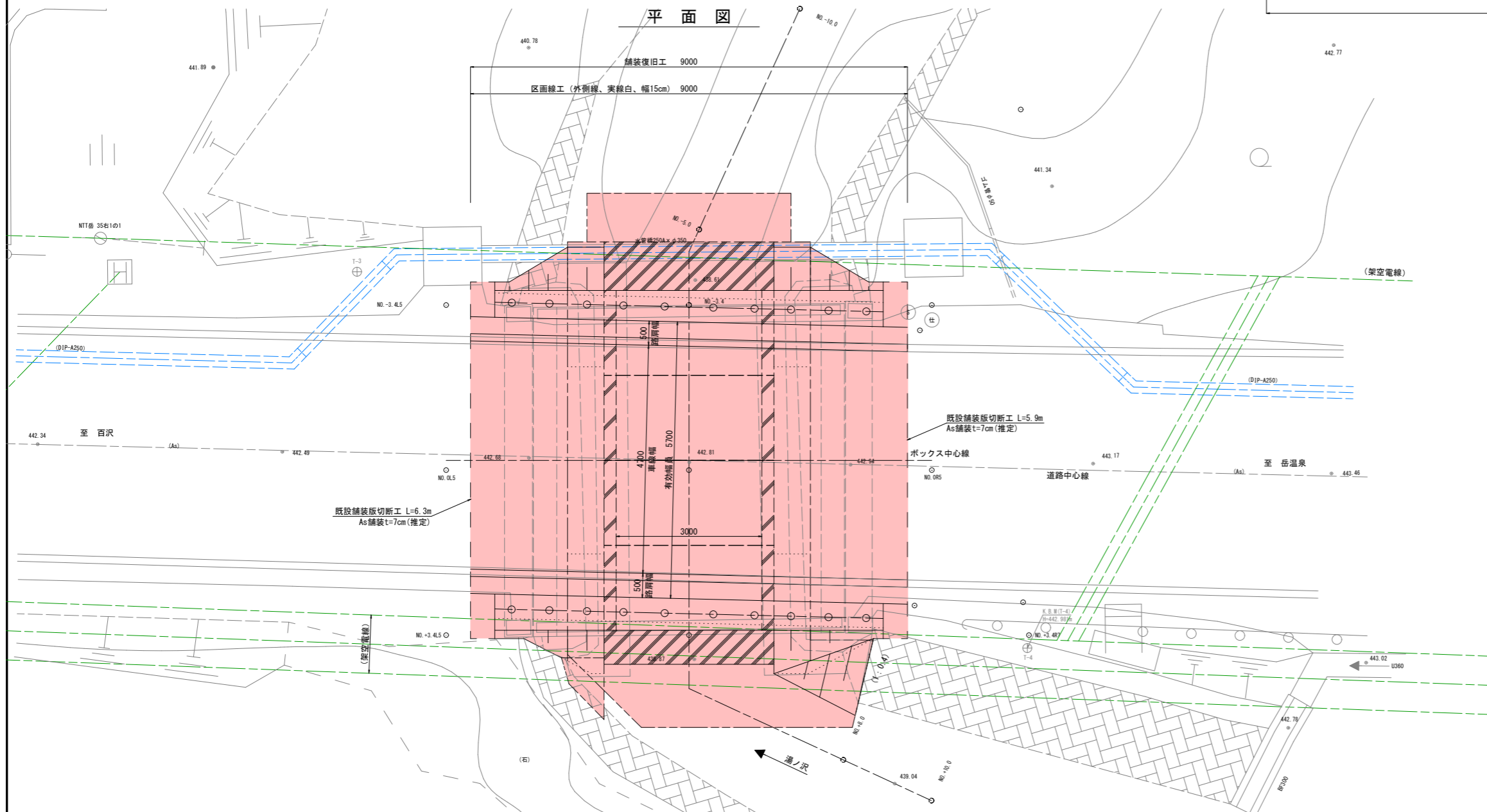
断面図



ボックスカルバート工架替え計画側面図



平面図



函渠工設計条件		
路線名	市道 常盤野1号線	
構造形式	プレキャストRCボックスカルバート (上下2分割)	
寸法	内空幅	B=3.000m
	内空高	H=3.800m (上部1.900m+下部1.900m)
法	製品長	L=1.746m/個×4 (参考重量: 上部材9,050kg+下部材9,050kg=18,100kg/個)
	設計土被り	t=(Max)0.255m、(Min)0.127m
舗装厚	表層工 (As舗装厚)	t=0.070m $\gamma=22.5\text{kN/m}^3$
	路盤工 (砕石厚)	t=---m
天端調整コンクリート	t=(Max)0.185m、(Min)0.057m ($\gamma=23.0\text{kN/m}^3$)	
埋戻し	良質土砂 (取付け翼壁-重力式擁壁コンクリート)	
活荷重	自動車荷重T-25 (245kN) - 後輪荷重100kN	
衝撃係数	0.3 (土被り h<4.0m)	
静止土圧係数	k0=0.5	
雪荷重	Ps=1.0kN/m ²	
斜角	90° (ボックス製品矩形)	
基礎形式	直接基礎工	
適用基準書	道路土工-カルバート工指針 (社) 日本道路協会	
	プレキャストボックスカルバート設計・施工マニュアル 全国ボックスカルバート協会	
敷設工法	クレーン掘付5.25m 特殊搬送掘付工1.75m (最上流部)	

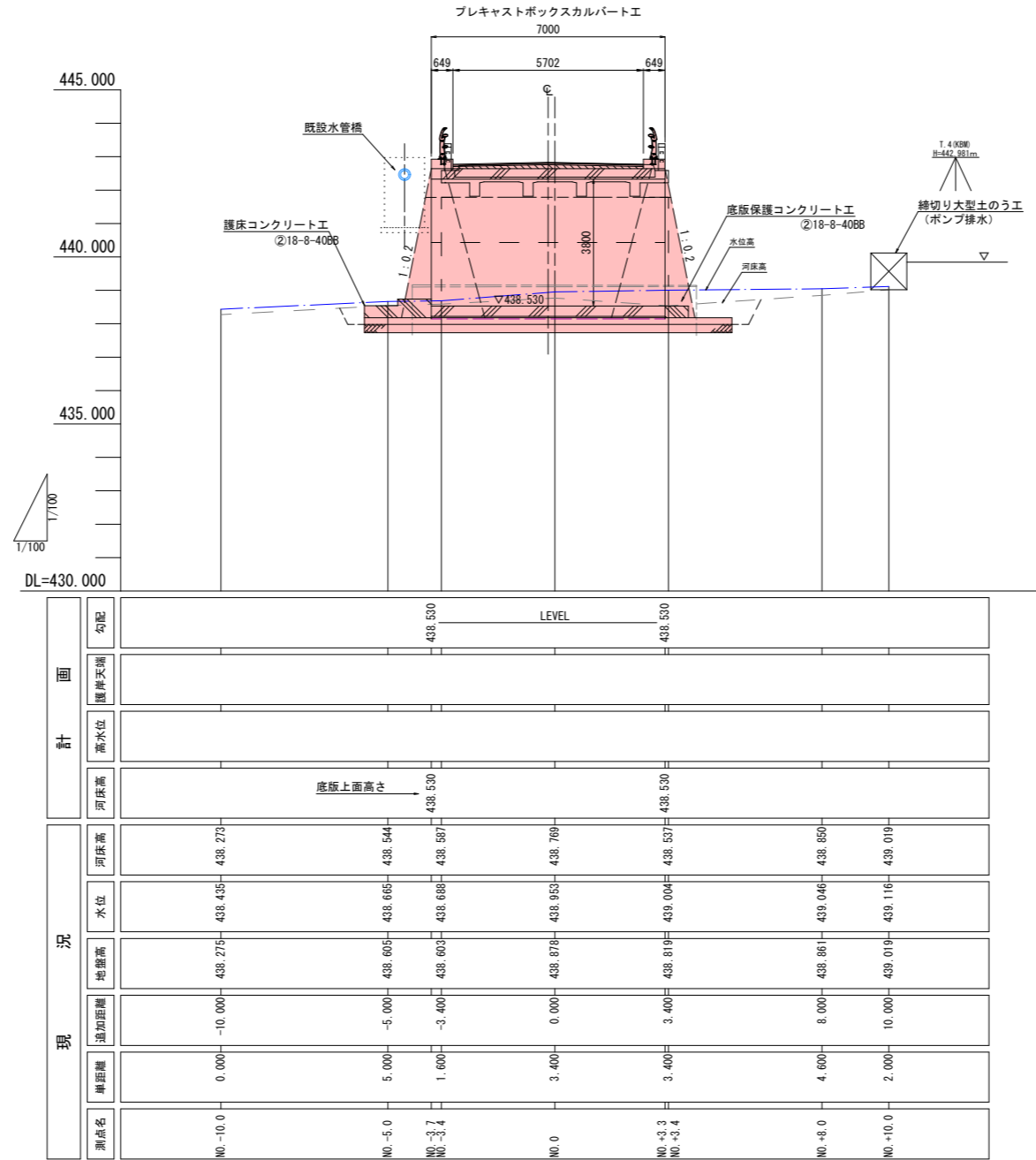
※支持地盤調査
基礎工の施工に当たっては、平板載荷試験または同等の試験を行い、基礎底面の地盤反力度「60.20kN/m²」以上として現況地盤面の支持力度を確認する事。

年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	縦断面図
縮尺	図示 (A1)
図面番号	12葉3

縦断面図

V=1/100
H=1/100

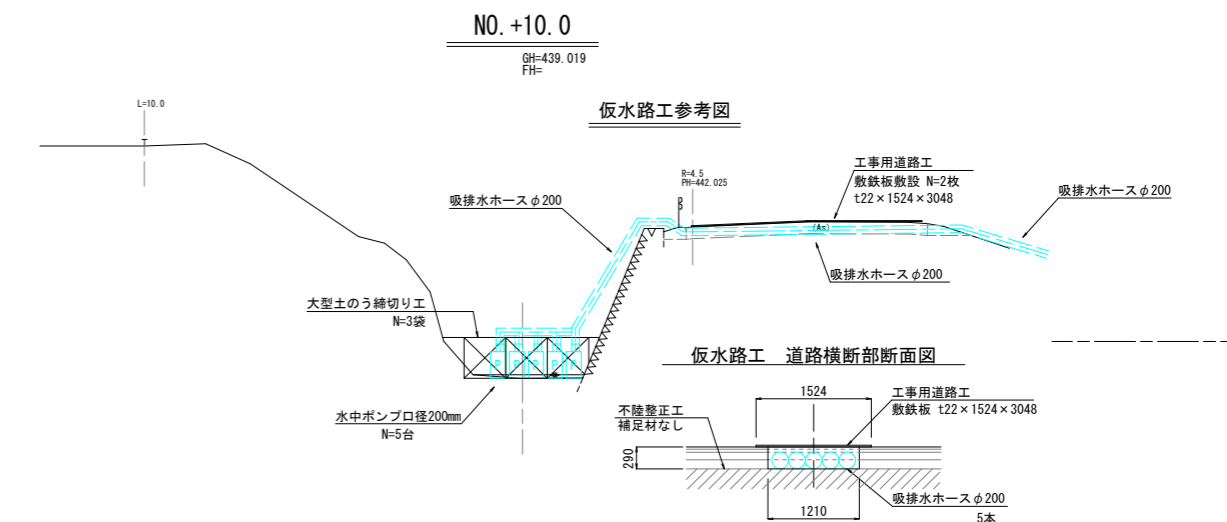
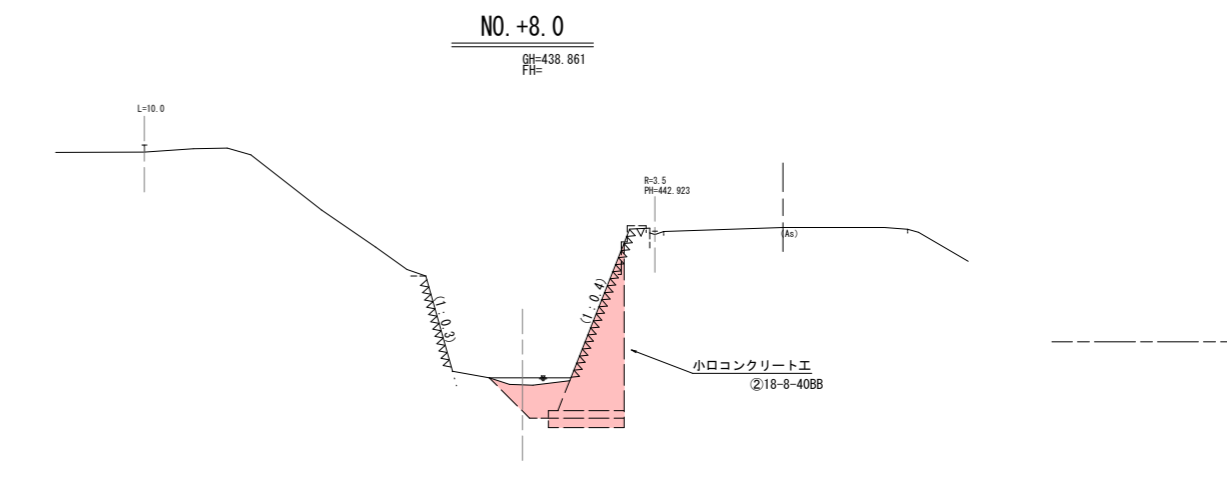
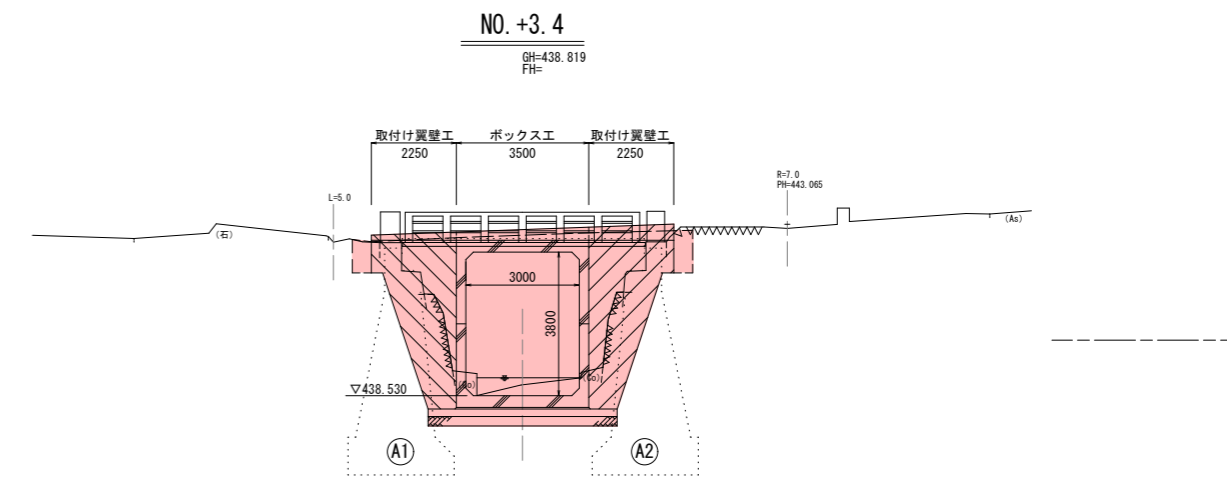
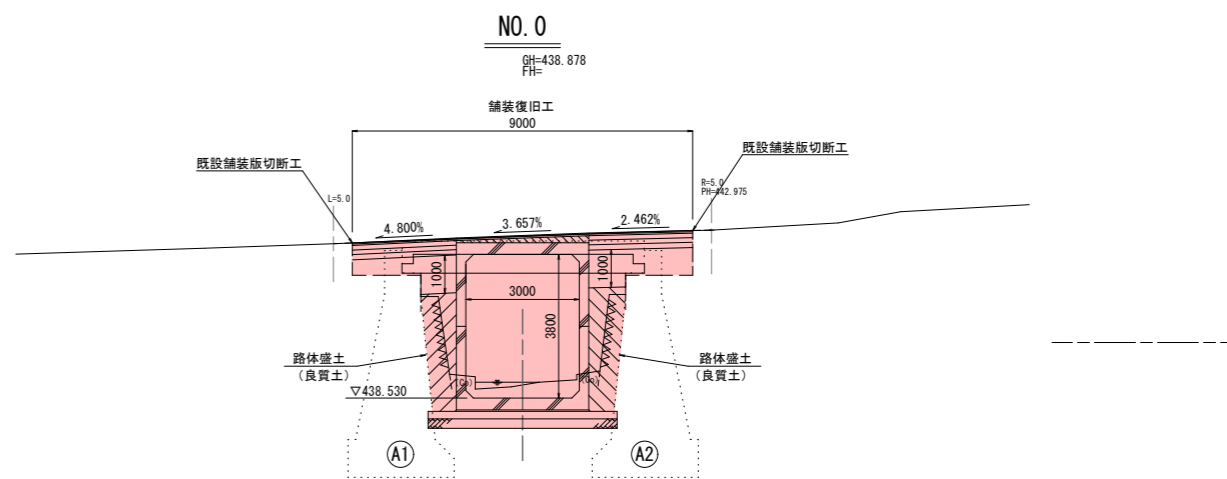
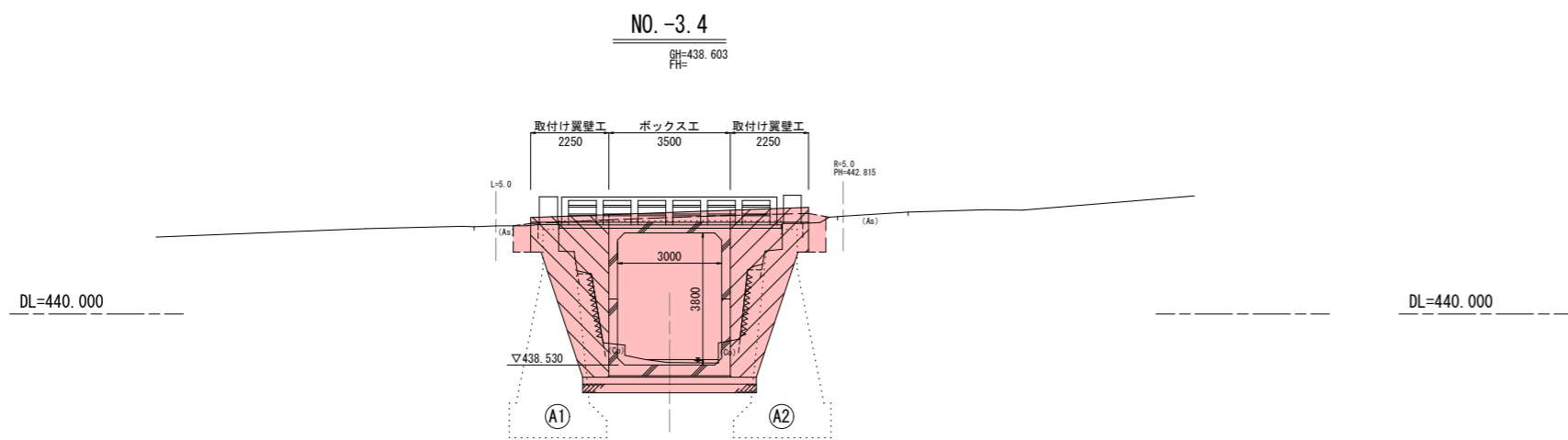
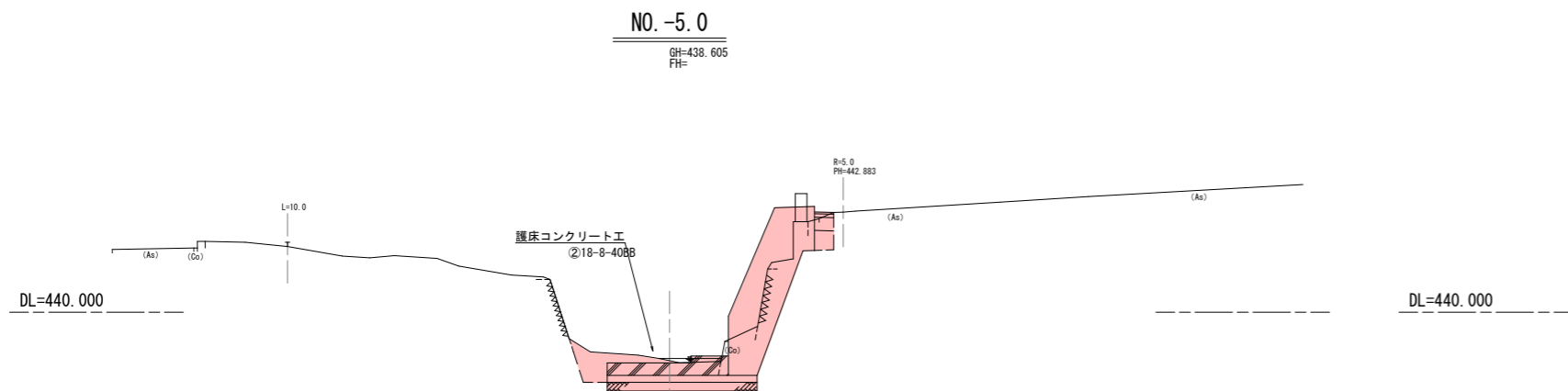
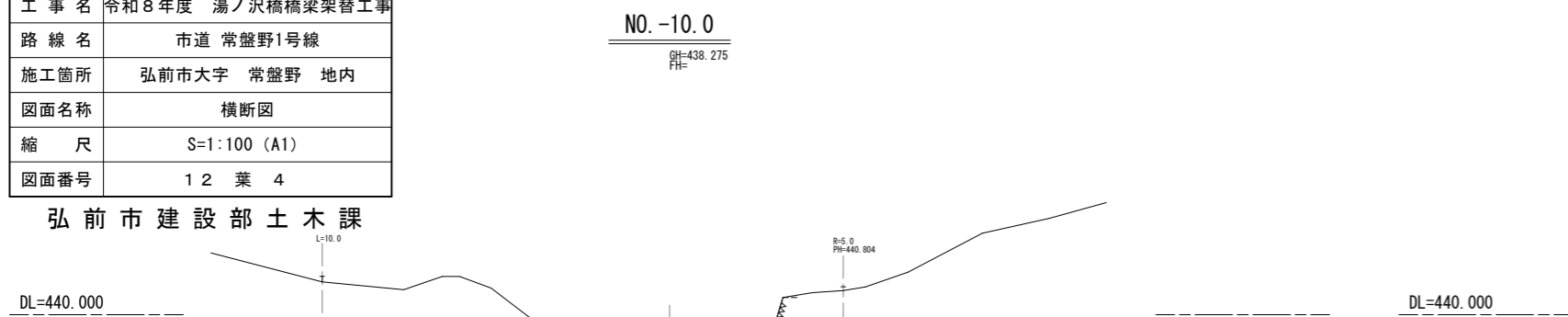
弘前市建設部土木課



年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	横断面図
縮尺	S=1:100 (A1)
図面番号	12葉4

横断面図

弘前市建設部土木課



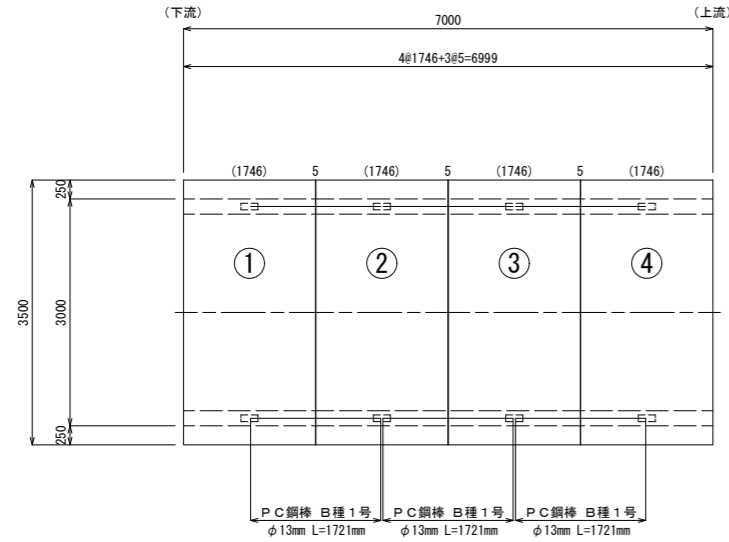
年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	ボックスカルバート構造詳細図
縮尺	図示(A1)
図面番号	12葉5

ボックスカルバート構造詳細図

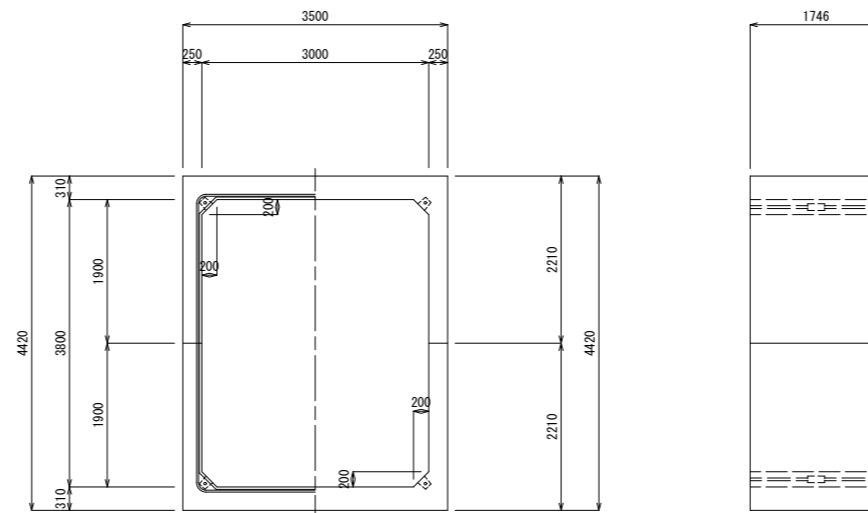
プレキャストRCボックスカルバート B3000-H3800(2分割)

弘前市建設部土木課

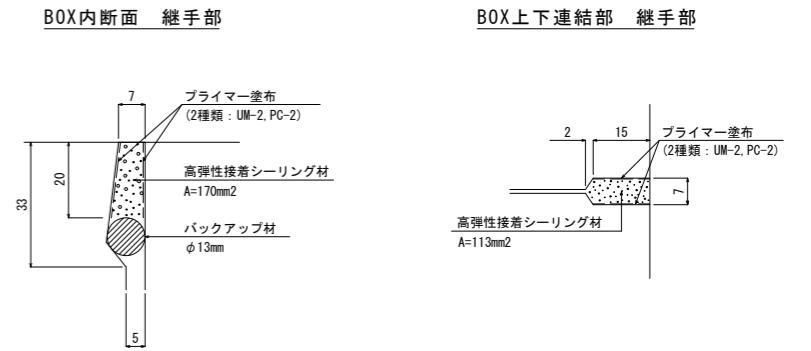
平面展開図
S=1/50



RCボックスカルバート構造図
S=1/50



目地部詳細図
S=free



ボックスカルバート数量表

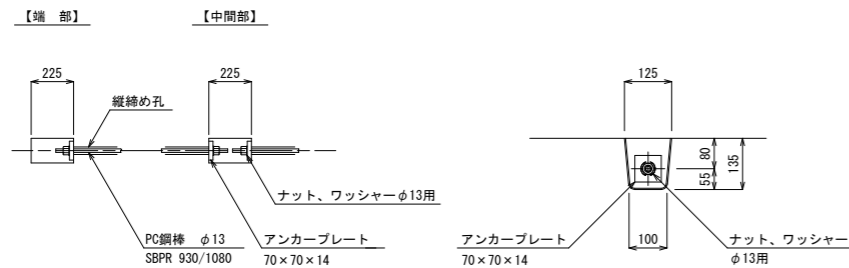
規格	製品長			位置	本数	備考
	有効長	短辺	長辺			
標準品	3000×3800	1746		①~④	4	アンカーボックス付
計					4	

参考質量
(上部材) 9050 kg
(下部材) 9050 kg
合計 18100 kg

シーリング材 材料表 (総延長当たり)			
種別	規格	単位	数量
高弾性接着シーリング材	変成シリコーン系	本	32
バックアップ材	φ13mm	m	40
プライマー	標準用	ml	480
プライマー	湿潤用	ml	480

※目地1箇所当り①内断面継手部 L=13.131m②上下連結継手部 L=7.0m
※シーリング材容量は320ml/本
※シーリング材及びプライマー数量は、ロス率20%を考慮

PC縦締め詳細図
S=free



アンカーボックス部詳細図
S=free

PC縦締め材料表

名称	規格	単位	数量
PC鋼棒 B種1号	φ13 SBPR 930/1080 L=1.721m	本	12
アンカープレート	70×70×14mm	枚	24
φ13mm用六角ナット	M14×H21	個	24
φ13mm用ワッシャー		個	24

※製品数量は上部材と下部材を組み合わせた数量。
※ボックスカルバート4分割の内、架空電線が支障となる上流側1組(位置④)については、特殊搬送工法による設置となることから基礎コンクリート上にガイドレールを設置し、位置③にて、下部材を台車へ吊り降ろし後、上部材を吊り降ろし上下連結させ、搬送させる。
※位置①~③の据付・設置は、下部材を据付後、上部材を吊り降ろし上下連結させるものとする。

年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	ボックスカルバート基礎工詳細図
縮尺	図示 (A1)
図面番号	12葉6

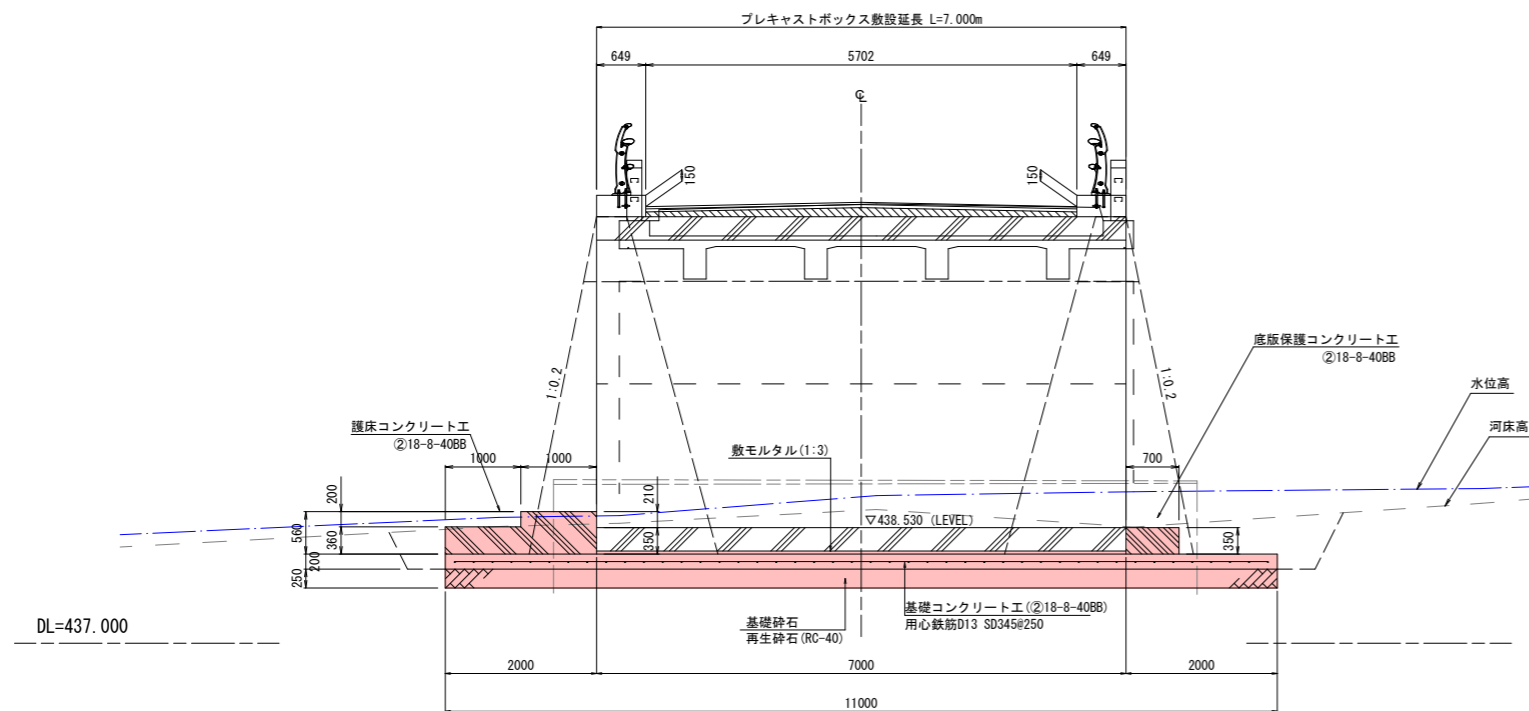
ボックスカルバート基礎工詳細図

プレキャストRCボックスカルバート B3000-H3800 (2分割)

弘前市建設部土木課

ボックスカルバート工架替計画断面図

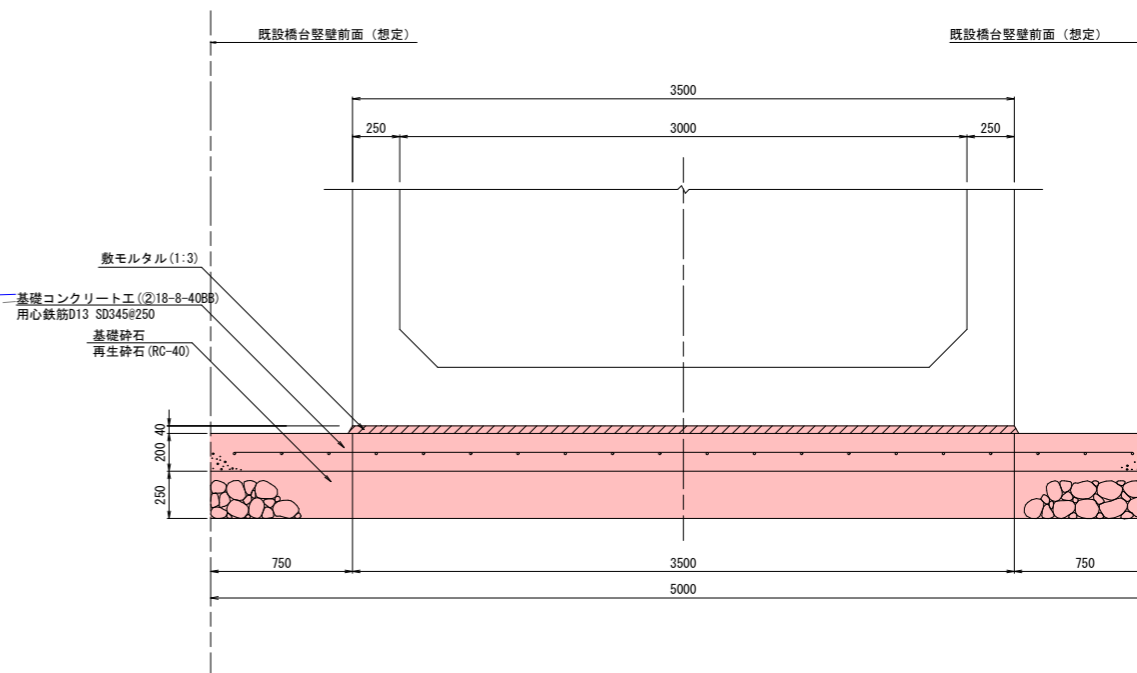
S=1/50



※ボックス敷設後に打設する護床・底版保護コンクリートにおいては基礎コンクリート上面の目粗しを行い付着性を確保する。

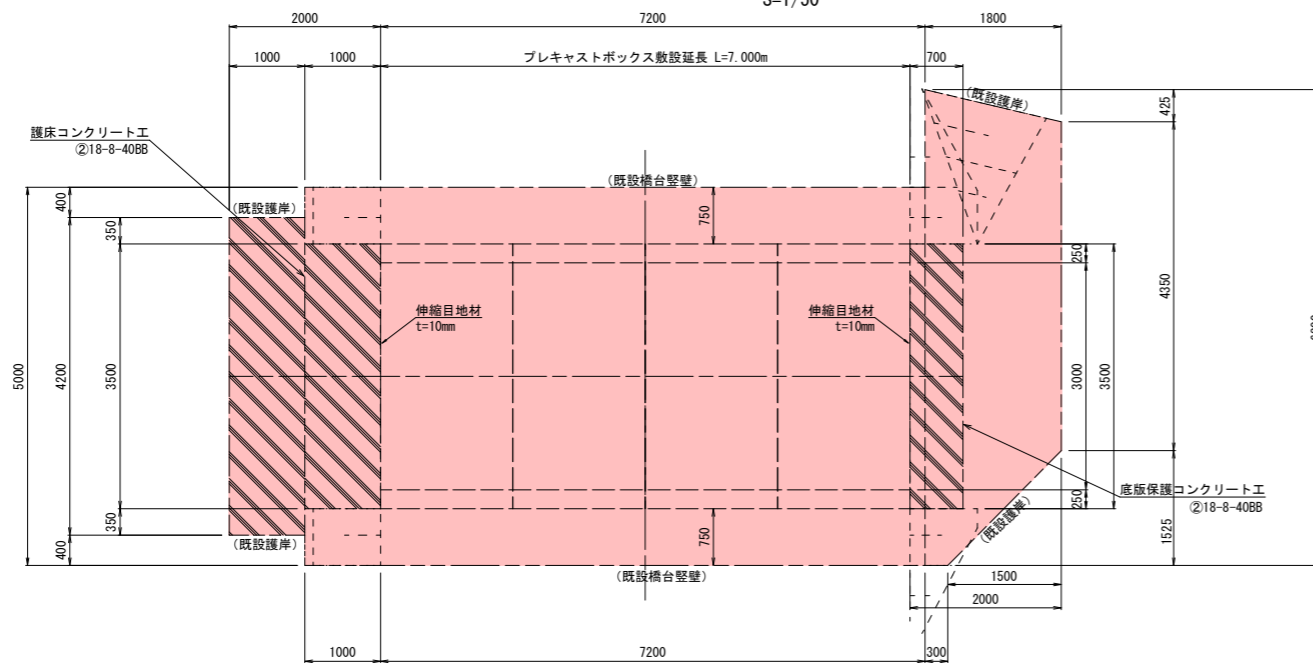
基礎コンクリート工詳細図

S=1/20



基礎コンクリート工計画平面図

S=1/50



※基礎コンクリート工の外郭寸法は、床掘により既設の橋台壁・護岸の位置を確認した上で最終決定とする。

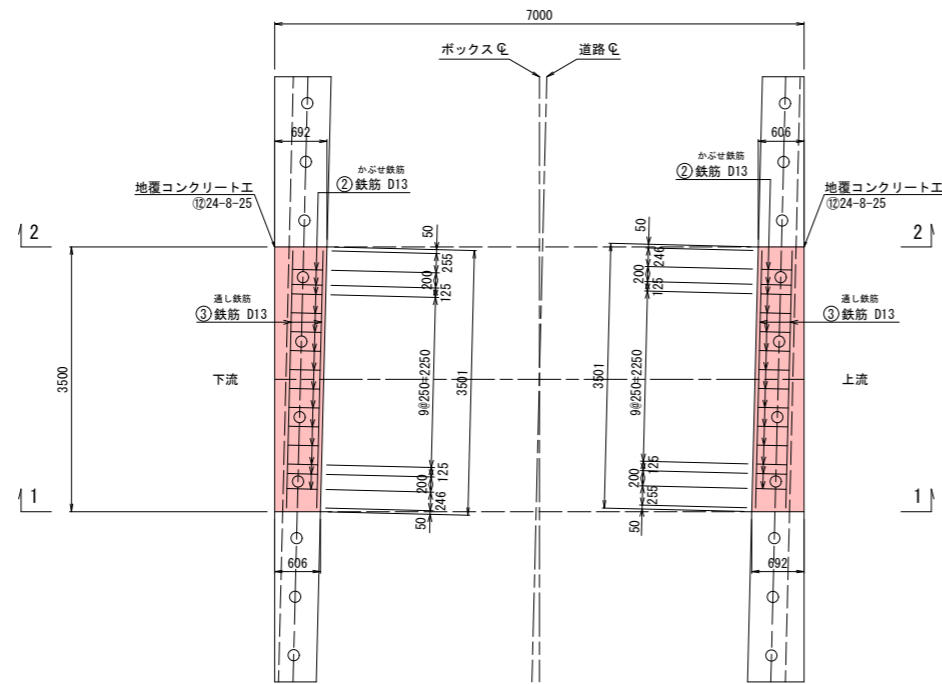
年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	ボックスカルバート地覆詳細図
縮尺	S=1:50 (A1)
図面番号	12葉7

ボックスカルバート地覆詳細図

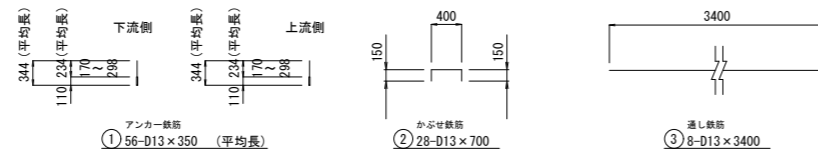
プレキャストRCボックスカルバート B3000-H3800 (2分割)

弘前市建設部土木課

ボックスカルバート地覆平面図



[地覆鉄筋加工図]



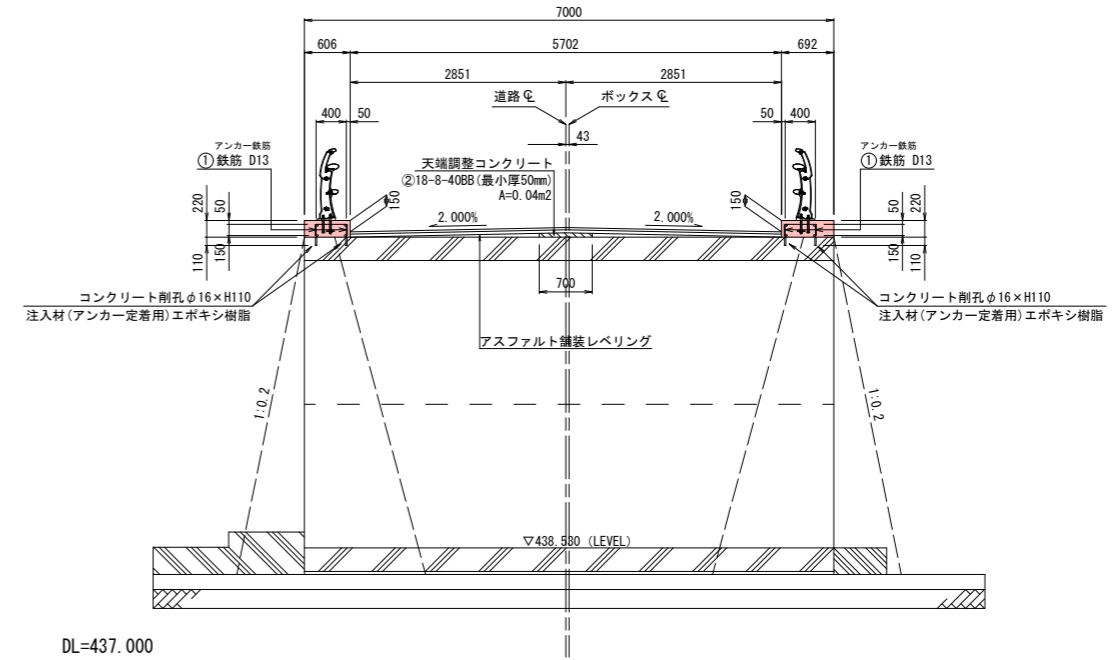
鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	摘要	
①	D13	350	56	0.995	0.35	20	┆	アンカー-削孔 N=56	
②	D13	700	28	0.995	0.70	20	┆		
③	D13	3400	8	0.995	3.38	27	┆		
合計 D13 =							67	kg	

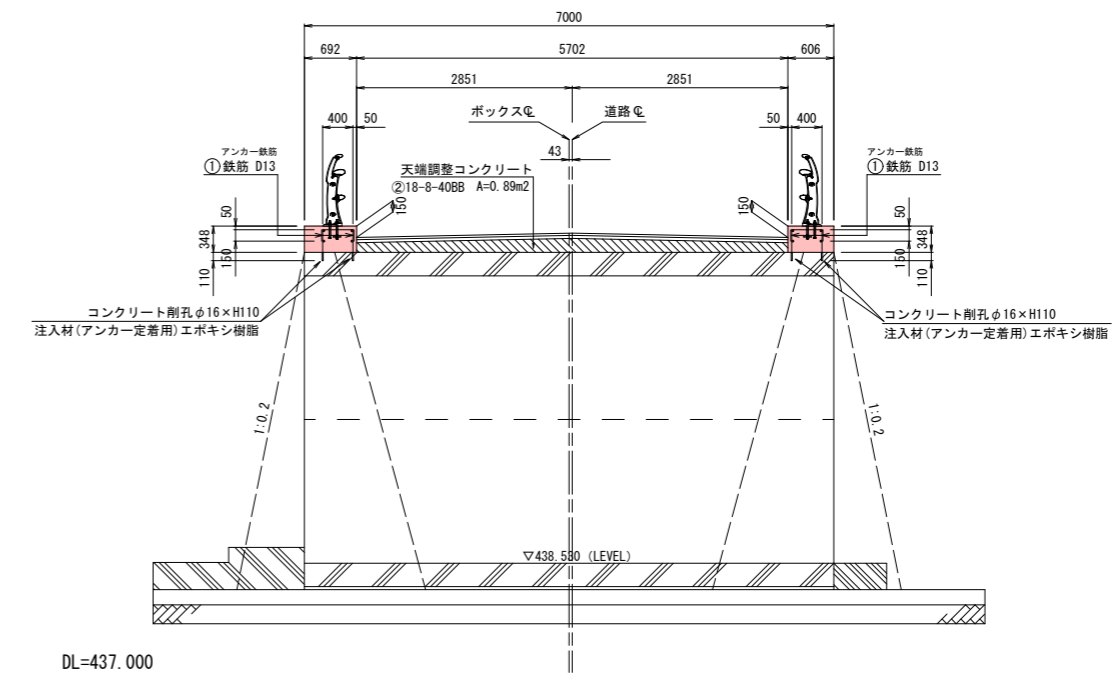
材質 S0345

ボックスカルバート地覆断面図

1-1 断面図



2-2 断面図

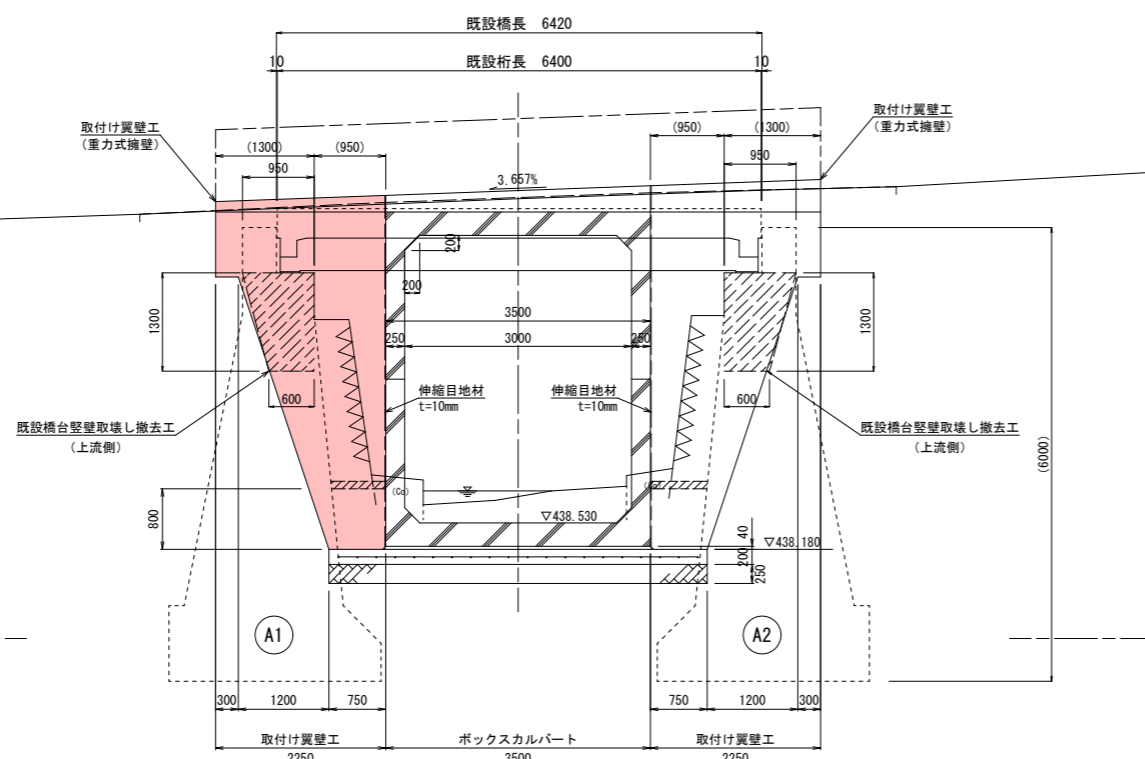


年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	取付け翼壁工構造図 (1/2)
縮尺	S=1:50 (A1)
図面番号	12 葉 8

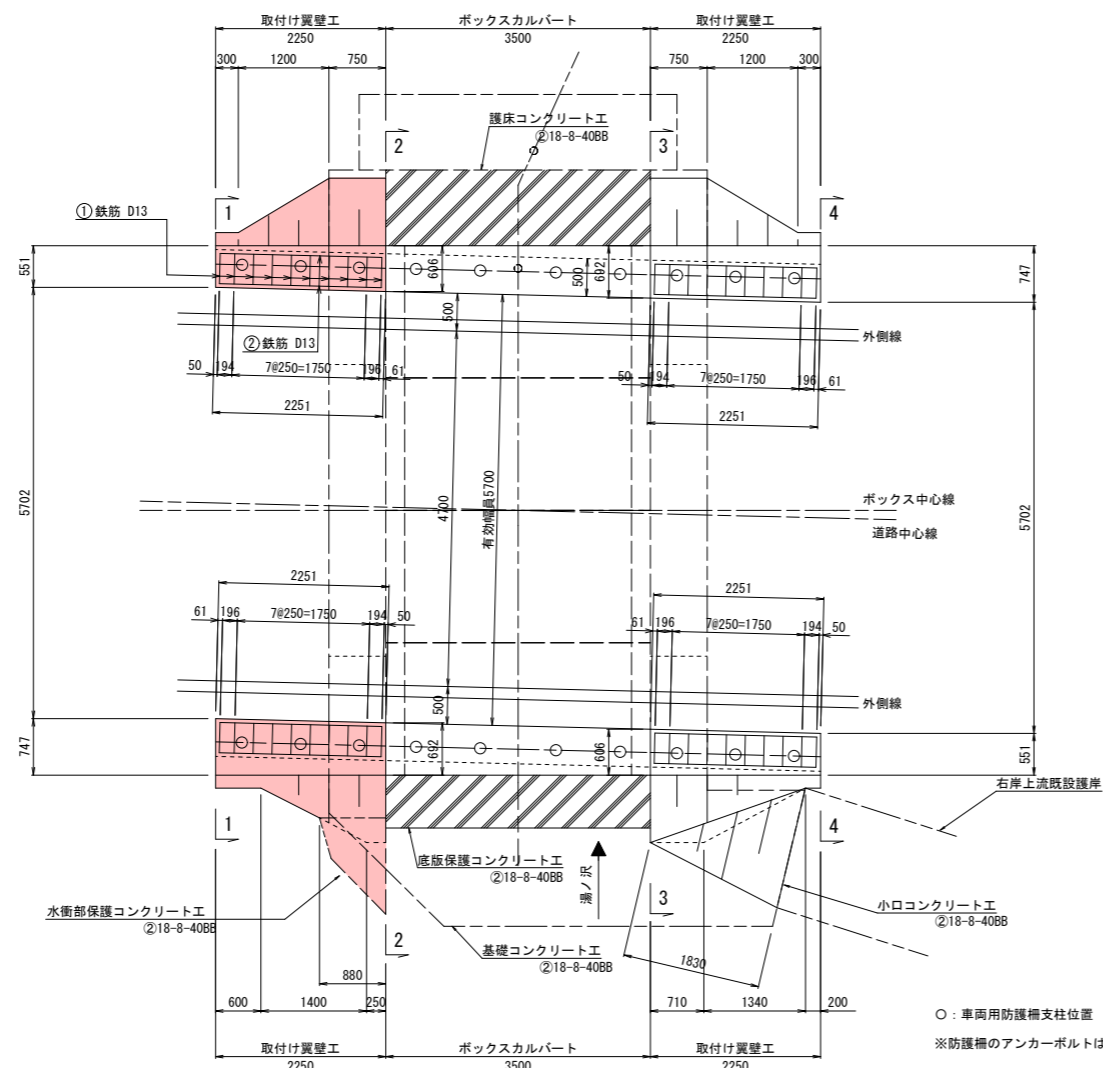
取付け翼壁工構造図 (1/2)

弘前市建設部土木課

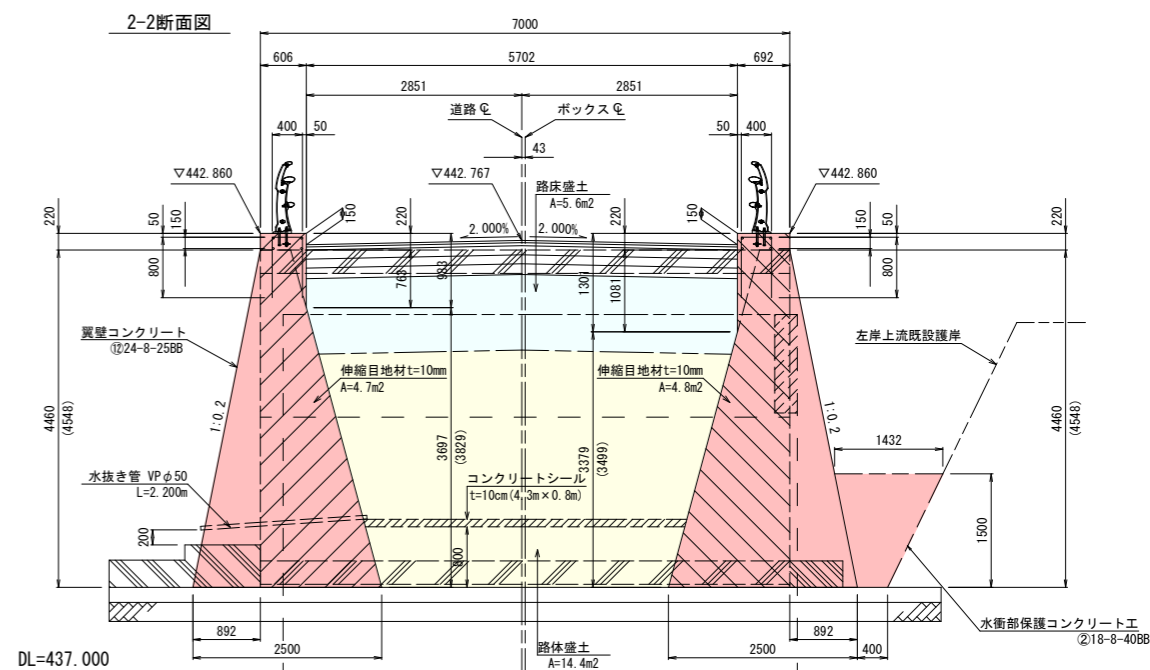
側面図



平面図

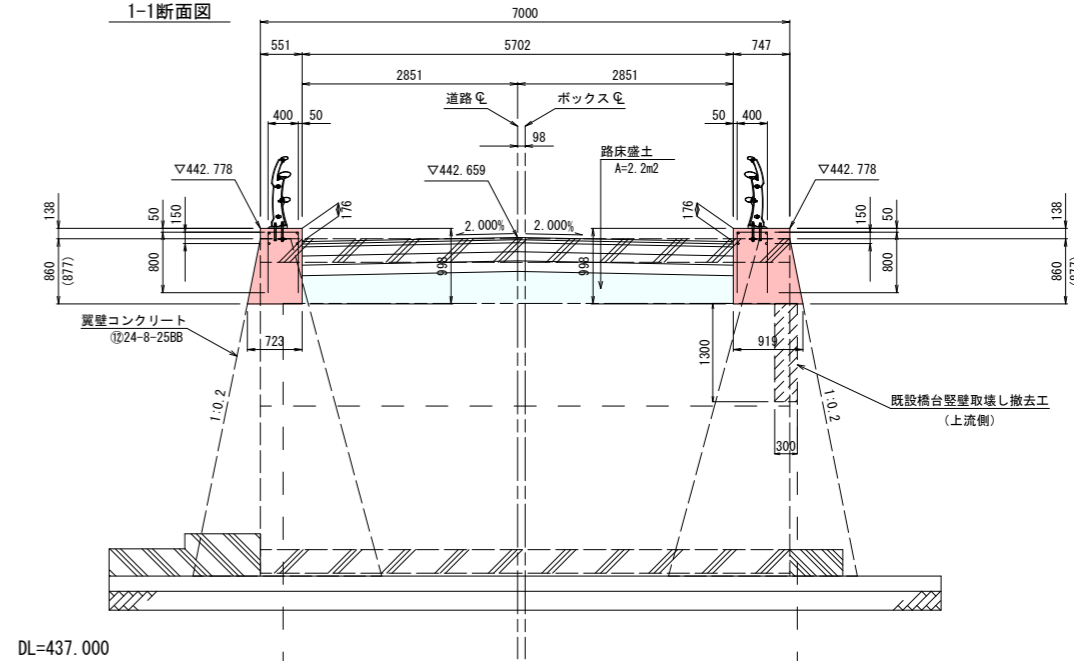


取付け翼壁工断面図



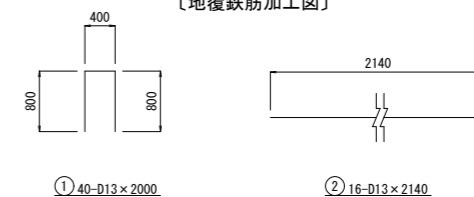
※路床盛土の基礎コンクリートから高さ0.900mは流用土とせず、購入土(良質土)にて転圧を行い、t=10cmのコンクリートシートと水抜き管吸出し防止材を設置する。

1-1断面図



※ () 内寸法は斜長を表す。

【地覆鉄筋加工図】



鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)	形状	概要	
①	D13	2000	40	0.995	1.99	80	□		
②	D13	2140	16	0.995	2.13	34	—		
合計 D13 =							114	kg	

材質 SD345

○ : 車両用防護柵支柱位置

※防護柵のアンカーボルトは翼壁コンクリート打設時に設置しておくものとする。

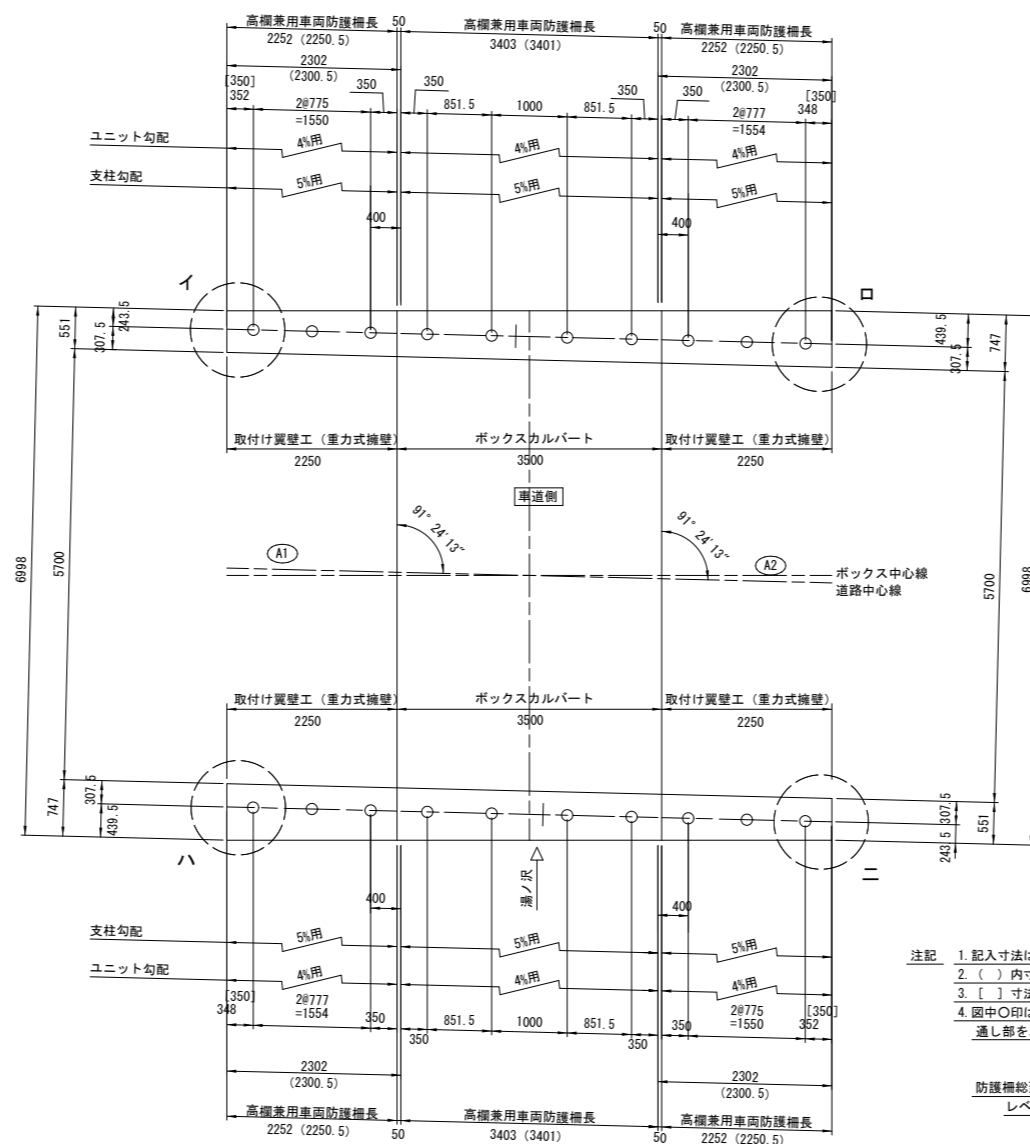
年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	車両用防護柵工構造詳細図 (1/2)
縮尺	図示 (A1)
図面番号	12 葉 10

車両用防護柵工構造詳細図 (1/2)

(参考図)

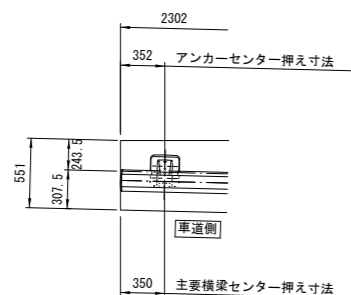
防護柵割り付け平面図

S=1/50



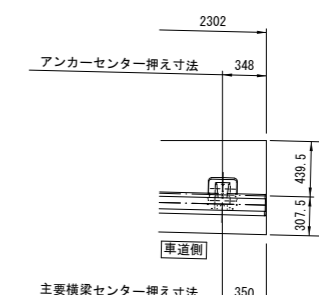
イ部詳細図

S=1/30



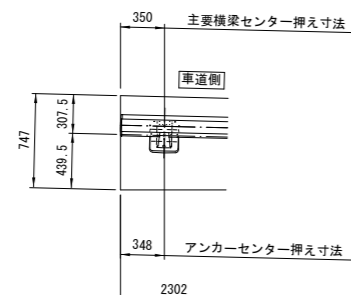
ロ部詳細図

S=1/30



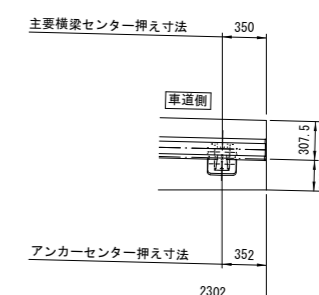
ハ部詳細図

S=1/30



ニ部詳細図

S=1/30

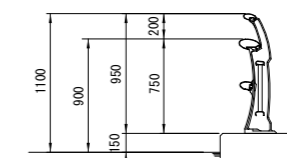
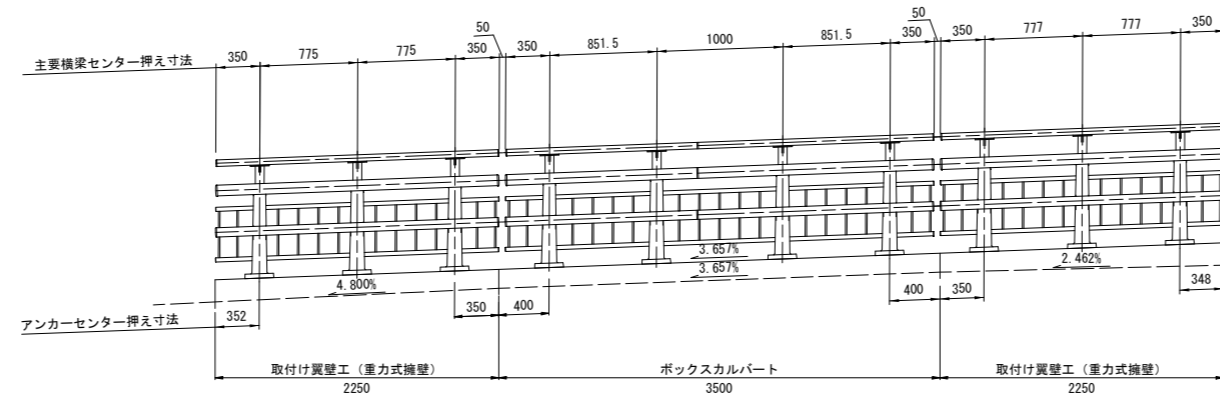


- 注記
- 記入寸法はアンカーセンター押えの実長を示す。
 - () 内寸法は水平長を示す。
 - [] 寸法は主要横梁長を示す。
 - 図中○印は、支柱取付位置を示し、○印は横梁通し部を、+印は横梁の継手部を示す。

防護柵総延長 15M814
レベル用 15M814

防護柵姿図

S=1/30



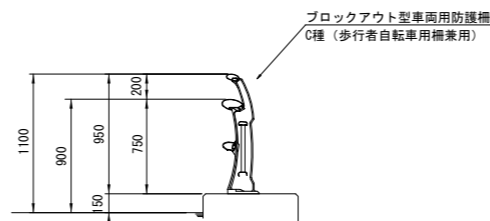
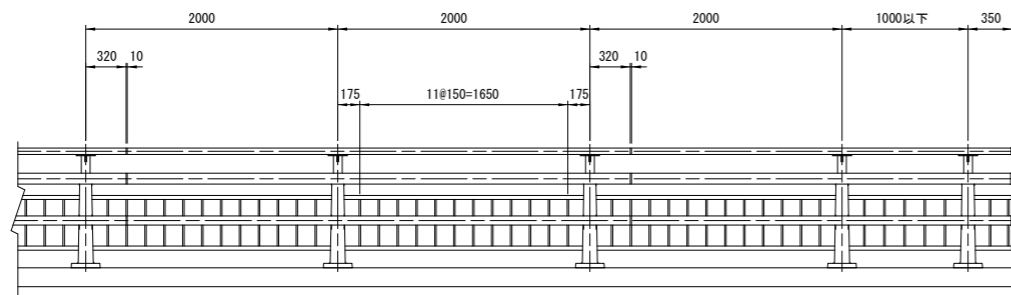
年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	車両用防護柵工構造詳細図 (2/2)
縮尺	図示 (A1)
図面番号	12 葉 11

車両用防護柵工構造詳細図 (2/2)

(参考図)

弘前市建設部土木課

標準姿図 S=1/30



ブロックアウト型車両用防護柵詳細図

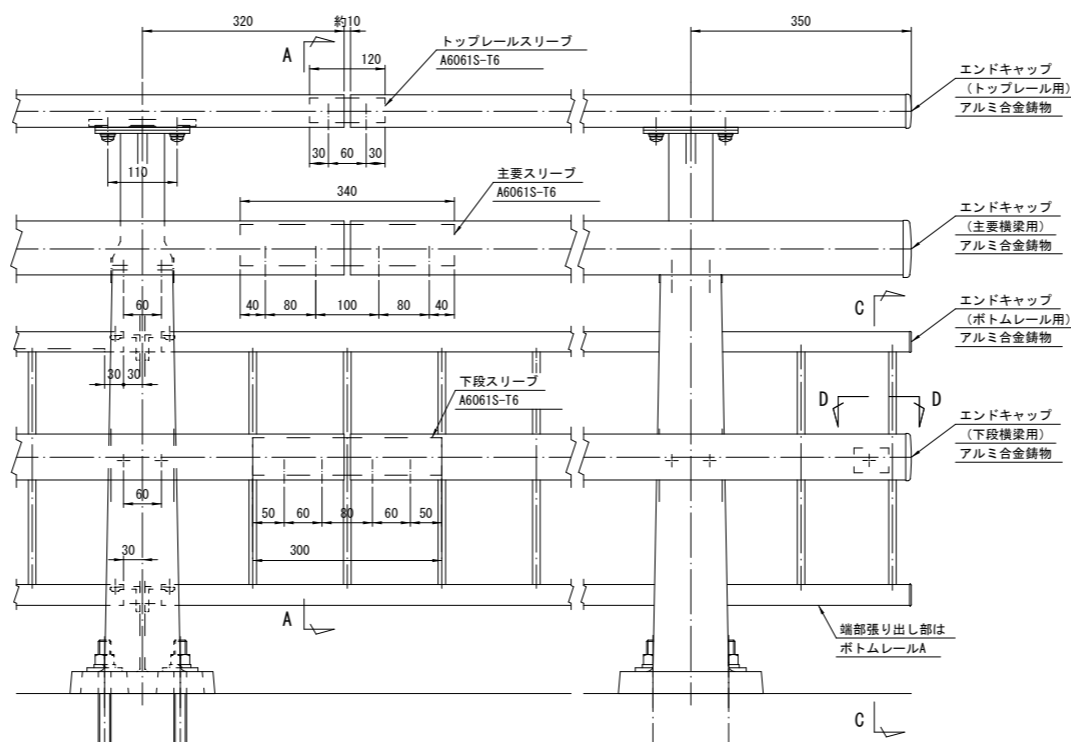
C種 (歩行者自転車用柵兼用) S=1/6

材料表

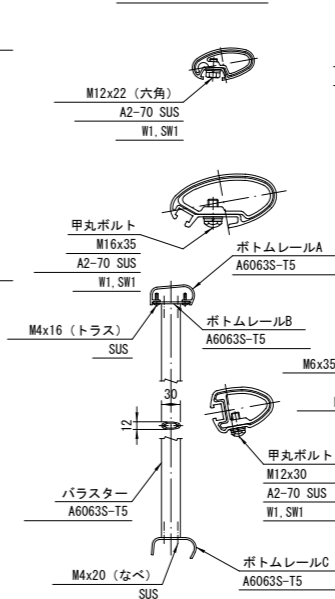
部番	名称	寸度	数量	単重	1本当り	総重量	材質	備考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	トップレール	3990.0	3	2.179	8.69	26.1	A6061S-T6	100x50x3
4	支柱		6		11.05	66.3	AC7A相当	
5	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
6	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
7	トップレールスリーブ	120.0	3	2.093	0.25	0.8	A6061S-T6	
8	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
9	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
10	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
11	バラスト	371.0	72	0.369	0.14	10.1	A6063S-T5	30x12
12	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
13	板ナット	170.0	6	0.986	0.17	1.0	A6061S-T6	
14	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1, SW1
15	"	M12x30	24		0.05	1.2	A2-70 SUS	W1, SW1
16	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
17	"	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
18	"	M12x22	6		0.05	0.3	A2-70 SUS	W1, SW1
19	"	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1, W2, SW1
20	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1, SW1
21	なべタッピンネジ	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
22	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
23	アンカーボルト	M20x260	12		0.85	10.2	SCM435	N3, φ56W1, SW1, 絶縁ブッシュ
24	"	M20x220	12		0.72	8.6	強度区分4.6以上	N1, φ56W1, SW1, 絶縁ブッシュ
25	アンカープレート	t=12	12		0.94	11.3	SS400	100x100x12
						総重量	280.7	kg/12M
						M当り	23.4	kg/M (端部は除く)

継手部

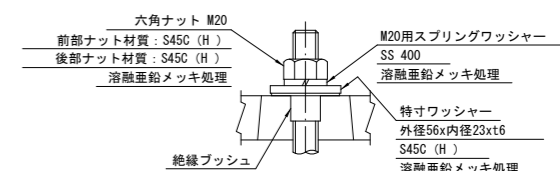
端部



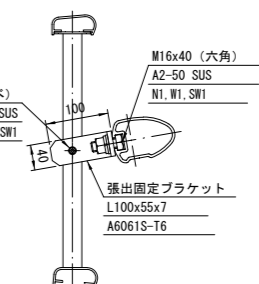
A-A断面図



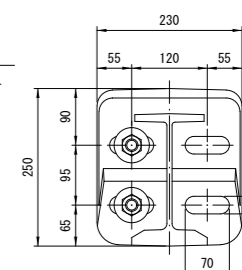
アンカーナット締め付け部 S=1/3



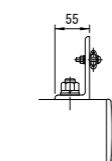
C-C断面図



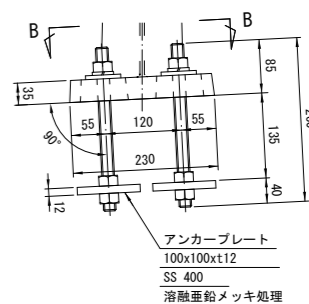
B-B断面図



D-D断面図



勾配部定着詳細図 (5%用)



注記

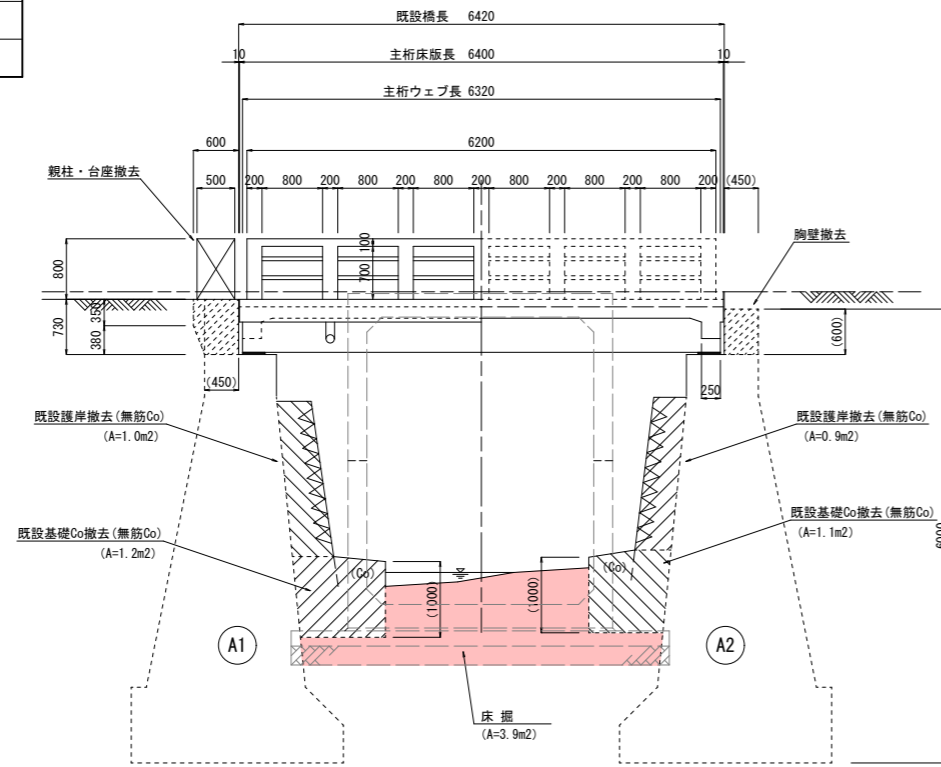
- 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト (アンカーを除く) はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
- 本防護柵の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成 「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」 (平成30年6月) による。
- 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
- ボルト・ビス類のSUS材は、塩害対策処理とする。
- アンカーボルトは、地覆コンクリート打設時にセットしておく。
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$

年度	令和8年度
工事名	令和8年度 湯ノ沢橋橋梁架替工事
路線名	市道 常盤野1号線
施工箇所	弘前市大字 常盤野 地内
図面名称	取壊し撤去図
縮尺	S=1:50 (A1)
図面番号	12 葉 12

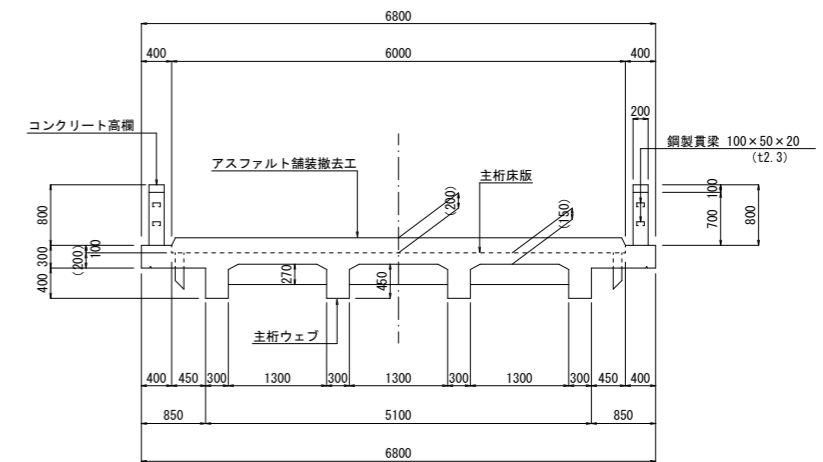
取壊し撤去図

弘前市建設部土木課

既設橋梁側面図



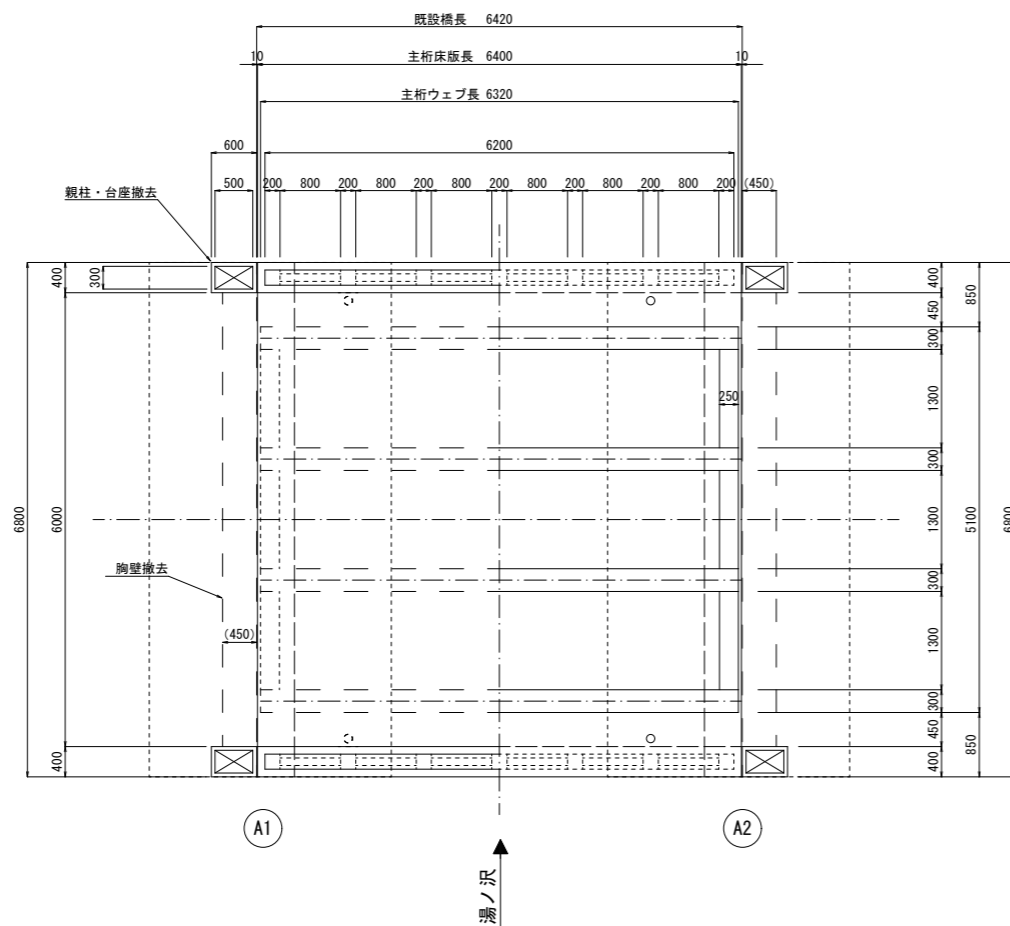
既設上部工断面図



※() 寸法は推定値であり、現地作業時に確認を行い最終決定とする。

既設橋梁平面図

※上部工・既設護岸の撤去および床掘の作業時は、既設橋台の変状に注意を払いとり進めるものとし、変状が見られる場合は背面土砂を除去して作業を行うものとする。



既設護岸撤去・土工平面図

